

民足協いばらき

☆民生委員・児童委員徽章は、幸せのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています。

2018年(平成30年)1月15日 第80号



ダブルダイヤモンド筑波（筑西市母子島）

吉沢 登氏（フォトクラブ県西）撮影

目次

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ●新春のごあいさつ（会長）…………… 2 | ●地区民足協だより |
| ●全国民生委員児童委員大会に参加して …… 2 | ・潮来市…………… 6 |
| ●新年あいさつ（知事・保健福祉部長）… 3 | ・つくばみらい市…………… 6 |
| ●第36回県民生委員児童委員大会報告…… 4 | ・阿見町…………… 7 |
| ●相談技法研修会に参加して…………… 5 | ・結城市…………… 7 |
| ●全国主任児童委員研修会に参加して…… 5 | ●事務局だより…………… 8 |
| | ●編集後記…………… 8 |

支えあう 住みよい社会 地域から

新春のごあいさつ



県民児協会長 竹内 昌信

新年おめでとうございます。
 昨年は、「民生委員制度創設100周年」と「児童委員制度創設70周年」という記念すべき節目を迎えました。

全民児連は、昨年7月9日、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、「民生委員制度100周年記念大会」が、東京ビックサイトにおいて盛大に開催されたことは記憶に新しいところでございます。また、茨城県広報誌「ひばり」5月号や新聞等で、民生委員児童委員の活動の実情が報道されました。さらに、県民児協では、10月27日に多数の来賓をお迎えし、県大会が実施され、年末12月4日より県福祉指導課のご協力で、県庁2階ロビーにて、全民児連より借用したポスターパネルを掲示し、多くの人に民生委員・児童委員の歴史や活動

を深く理解していただけたと確信しております。

これからの単位民児協活動は、全民児連より配布の「民生委員制度創設100周年活動強化方策」を基本とした、過去の先達からの伝統を守り、今後は地域で支援を求める人々の要望を正しく理解し、どの関係機関につながるべきかを、的確かつ迅速に対応することが大切であると思います。

県内委員の皆様は「民生委員・児童委員の仕事は大変である」などの言葉をひかえ、地域の人からの喜びの声や、笑顔で感謝された言葉を大切に後世に引き継ぎ、住民に信頼され期待される地域の奉仕者として、健康に留意し、益々ご活躍されますことを祈念申し上げます。年頭のあいさつと致します。

民生委員制度創設100周年記念

全国民生委員児童委員大会が開催されました。

県民児協理事 黒田 伸治

平成29年7月9日(日)から10日(月)に亘り、全国民生委員児童委員大会が開催されました。会場の東京ビッグサイトでは、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、全国から一万人が集結して盛大な大会が開催されました。茨城県からは133名が参加しました。

一日目の7月9日第一部は、得能金市全民児連会長による式辞の後、主催者である塩崎厚生労働大臣・斎藤全社協会長・小池東京都知事のご挨拶並びに各種功労者表彰が行われました。引き続き行われた記念講演は、医師で作家でもある諏訪中央病院名誉院長鎌田 實氏による「あたたかな社会をつくる」と言うテーマで、氏の出生から医師になるまで及び海外や国内での支援活動を通して体験した人のあたたかさについて熱弁をふるって戴きました。

その話は、民生委員としての素養であり、感激の講演会でした。第二部では、大会宣言が報告され全会一致で承認されました。最後に来年の開催地沖縄県の民生委員から歓迎する旨の挨拶がありました。二日目の7月10日(月)は、テーマ別研修となり、六つのテーマに分かれて研修が行われました。テーマは、「民生委員制度創設の原点を学ぶ」

「これからの民生委員・児童委員活動」「地域共生社会の実現に向けて」「子供達の未来のために」「これからの民児協活動にむけて」「小規模発表集会」の六つでした。茨城県からは18名が参加しました。

これからの民児協活動スローガンは「支えあう 住みよい社会 地域から」と決まりました。

また全国民生委員児童委員連合会からは、「民生委員制度創設100周年活動強化方策」が示されました。各単位民児協に於いて積極的に本方策を取り入れて民生委員児童委員活動がより活性化することを期待したい。



新年あいさつ



茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から地域住民の方々に対する様々な相談や援助活動を通して、社会福祉の向上に多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。特に昨年は、民生委員制度創設100周年を迎えたところであり、今後ますますの活躍をご期待申し上げる次第です。

知事に就任してから3ヵ月余り、現場に足を運びますとともに、多くの職員と議論を進め、新しい茨城づくりの方向性を取りまとめました。

県といたしましては、力強い産業を創出し、豊かさを実感できる暮らしを育みますとともに、医療・福祉・治安・防災など、安心・安全な生活基盤を築いてまいります。

また、子どもたちが得意なものを見つけ、さらに伸ばし、グローバル社会で活躍できる教育環境、

子どもを産み育てやすい県づくりなどを進めてまいります。

さらに、世界湖沼会議、茨城国体・全国障害者スポーツ大会や東京オリンピック・パラリンピックの成功、あらゆる産業における海外展開やベンチャー企業支援、魅力度向上などに力を注いでまいります。

これからの茨城を切り拓いていくためには、新しい発想で果敢に挑戦していかなければなりません。県民の皆様とともに、人口減少や少子高齢化、刻一刻と進む時代の変化に真正面から向き合い、茨城のあるべき姿を見据えて、一歩でも前に進んでいける一年にしていきたいと考えています。

茨城県民生委員児童委員協議会の更なるご発展と、皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして新年のごあいさついたします。

新年あいさつ



茨城県保健福祉部長 木庭 愛

新年あけましておめでとうございます。

民生委員・児童委員の皆様方には、日頃から県民の方々に対する様々な相談や援助活動を通して、本県の社会福祉行政の推進に多大なるご貢献をいただいております。厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、民生委員制度創設100周年という節目の年を迎えました。この間、皆様方におかれましては、世帯更生運動や在宅福祉推進のネットワークづくり、さらに相次ぐ自然災害への対応など、時代の要請に応えながら、県民生活の向上にご貢献いただいたところであり、改めて深く敬意を表する次第です。

そして現在、急速に人口減少や少子高齢化が進む中、国では、地域住民が「我が事」として地域づくりを進め、公的な福祉サービスと協働して、助け合いながら暮らすことができる、「地域共生社会」

の実現を目指すこととされております。

県といたしましても、団塊の世代全てが75歳以上となる平成37年を見据え、医療・介護の連携強化や地域包括ケアシステムの構築、高齢者の健康・生きがいづくりなどを進めてまいります。

こうした施策の推進にあたっては、住民の身近なところで問題を発見し、地域住民の立場に立って相談、援助を行う皆様方のお力添えが不可欠であることは言うまでもございません。

県では、引き続き、茨城県民生委員児童委員協議会の皆様方や市町村等の関係機関と十分に連携しながら、委員の皆様方が活動しやすい環境づくりを進めてまいります。

皆様におかれましては、地域福祉推進の担い手として、より一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

民生委員制度創設100周年記念 第36回茨城県民生委員児童委員大会開催報告

県民児協評議員 中村 弘行

天高く一点の曇りなき快晴のもと、民生委員制度100周年記念 第36回茨城県民生委員児童委員大会が、去る平成29年10月27日午前10時より、茨城県立県民文化センター大ホールにて開催されました。

大会オープニングとして、午前9時30分より、民生委員制度100周年映像「濟世顧問、方面委員から民



生委員へ」の映像が約20分間、会場スクリーンに投影され民生委員児童委員信条「誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努める」の考え方のもと、先達の絶えまざる「隣人愛をもって、社会福祉の増進」に努められた活動が紹介され、困難を物ともせず「明朗で健全な地域社会づくりに努める」固い決意で、社会福祉の充実に邁進された足跡を知ることになりました。

定刻の午前10時に開会が宣言され、大会式典に先立ち「社会福祉をめぐる状況とこれからの民生委員児童委員活動」100年を振り返りこれからを考える」と題して、一般財団法人保健福祉広報協会常務理事・全社協参与 山田秀昭氏のご講演を頂きました。

講演内容は項目別に

- 一、社会福祉をめぐる状況
- 二、地域社会でどんな問題が起きているか
- 三、地域共生社会の実現



四、民生委員制度の成り立ち

五、民生委員活動を取り巻く状況

六、民生委員が果たしてきた役割とこれからの活動、

と細目に亘り豊富なご経験の中で蓄積された、虐待、生活困窮、子どもの貧困など地域で顕在化している諸問題の解決の道標をご提示になりました。また最後に民生委員活動を支える単位民児協の役割として、「委員個人の活動を支える」「資質の向上を図る」「組織活動を行う」「福祉の向上を図る」「相互の連帯を図る」が最も重要である事をご教示頂き、今後の地域活動の指針ともなるもの

で非常に有意義なご講演でした。

午前11時30分から大会式典を開始し、国歌斉唱、物故民生委員児童委員21名に黙祷を捧げ、民生委員児童委員信条朗読後、竹内昌信会長より制度創設100周年を迎えた感慨と、今後も地域住民の立場に立ち「地域共生社会」の実現を目指す、という主催者あいさつを行い、顕彰に移り、平成29年度茨城県民生委員児童委員協議会会長表彰34名が表彰の栄を受けます。

続いて、ご来賓祝辞を、茨城県知事 大井川和彦氏、茨城県議会保健福祉委員会委員長 石塚仁太郎氏、茨城県社会福祉協議会会長 関正夫氏より頂き、ご来賓の方々の紹介があり、受賞者を代表して関口光治氏の謝辞の後、大会宣言を満場一致で可決し、民生委員の歌を全員で斉唱して無事大会を終りました。



民生委員・児童委員のための 相談技法研修会に参加して

銚田市民児協会長 大庭 作 蔵

平成29年度民生委員・児童委員のための相談技法研修会が8月21日(22日の2日間、全国から141名が参加して新横浜国際ホテルにて開催され、茨城県からは塩崎委員、宮本委員と大庭3名が参加し、2日間共1グループ5〜6名で、24グループに分かれて行なわれました。

1日目は、初めに全社協民生部今井副部長の挨拶後、元梅花女子大学准教授の植田寿之氏が2日間講師で、「相談援助の視点と態度」についての講義後、民生委員・児童委員のための「相談・支援ポイント(基礎編)」研修ビデオ学習を行い、事例についてグループで話し合い、グループ毎に発表し、その発表に対して講師からアドバイスを頂きました。そして相談・支援活動のポイントとは、人間は誰かに相談するとき、基本的な欲求として、7つの欲求があり、それに対する聴き手・援助者としての態度・対応があり、人それぞれの個性を尊重し、自分がもし相手の立場だったらという気持ちで接する姿勢が大切であるという事です。又夜の交流会は昼のグループとは別のグループに分かれ、他県の方々と意見

交換や、経験談など貴重な話を聞き大変参考になりました。

2日目は「相談援助の原点と本質」の講義を受け、人間は一人で生きていけない等、最後に「相談面接技法」の講義を受け、相談面接のロールプレイを行い、各グループでの結果発表を行いました。

2日間にわたり、相談・支援についての研修で改めて相談する人、相談をされる人との信頼関係を築く事が重要と再認識しました。最後に民生委員・児童委員として相談・支援活動をして行く上で、相談技法研修会を、県民児協で実施して頂ければ、茨城県内の各委員の相談・支援活動がより向上するものと思います。



全国主任児童委員研修会に参加して

稲敷郡阿見町主任児童委員 関根 三 郎

平成29年度全国主任児童委員研修会(東日本)が9月14日(15日、千葉市東京ベイ幕張ホールにおいて、251名が参加して開催されました。

1日目は、厚生労働省子ども家庭局の阿部浩志氏から「児童福祉の動向と児童委員の活動」について説明がありました。

その後、明治学院大学長松原康雄氏より「子育てを応援する地域をつくるために」児童委員・主任児童委員の役割」と題した講義がありました。子どもは地域で暮らし成長していく存在・聞く耳・見守る目・支える手が大切。主任児童委員だけの活動ではなく地域との協働と関係機関とのネットワーク、民児協内部の連携が大切である事を再認識しました。

続いて、シンポジウムでは「学校との連携を進めるために」というテーマで、コーディネーターに至誠学舎立川常務理事 高橋久雄氏、シンポジストとして埼玉県川島町立中山小学校長 笛木哲氏、都立高校生自立支援チーム統括スーパーアドバイザー 土屋佳子氏、山梨県笛吹市民生委員児童委員協議会長 竹内稔

氏による発表がありました。特に一人親家庭増、親が子どもに注意できない、行動把握ができない、長期休暇中一人で過ごす子が多い等の課題も増加しており、学校との連携を深めて行く事が大切であるということ、等の話をされました。

2日目は、三ブロックに別れ一歩10人程度で「民児協として学校との連携をいかに進めるか」のテーマで話し合いました。

研修会に参加し関係機関、特に学校、民生委員・児童委員との連携の大切さを再認識しました。



協 だ よ り

潮来市

潮来市民児協の活動について

潮来市民児協会長 小谷野 保 明

潮来市は一つの単位民児協で構成され、72名(うち主任児童委員4名)の民生委員児童委員で日々の活動を行っています。

定例会は年間で12回開催され、福祉関連の各種制度や事業に関する研修を行ったり、体験事例発表などを行っています。また定例会の中には、市内を6つの地区に分け、地区ごとに情報交換などを行う地区別定例会や、市内の小中学校との懇談会を行う学区別定例会があります。

その他にも、月に一度のお弁当配達や、歳末慰問金の調査及び配布など、社協の事業にも協力して活動しています。

しかし、知名度の低さに課題を感じており、支援を必要としている人に民生委員という存在を知ってもらわなくてはと考えております。

そこで今年度はまず、5月に児童委員制度創設70周年の節目として市内6小学校の1年生の教室を訪問し、民生委員・児童委員のPRとグッズの配布を行いました。そして6月には潮来市最大のイベントである「水郷潮来あやめ祭り」で来場者へのおもてなしと民生委員制度創設100周年キャンペーンの一環として、冷たいおしほりやポケットティッシュの配布、園内の清掃等を行いました。

汗のにじむ陽気の中でのおしほりの配布はたいへん好評であり、民生委員・児童委員の存在も周知できたのではないかと考えております。

今後も普段の活動に力を入れると共に、民生委員・児童委員の知名度向上にも取り組み、本当に必要としている人に支援の輪が広がるように努めて参ります。



つくばみらい市

つくばみらい市民児協の活動について

つくばみらい市民児協会長 白鳥 治代

つくばみらい市は人口約5万人で平成27年には成長率ランキングで、人口増加日本一になりました。

緑豊かな田園風景が広がる一方、みらい平駅を中心に人口増加が著しく、民生委員が一人増加となりました。また、平成28年12月には、2地区あった地区協議会を一つに統合し、市民生委員児童委員協議会として、76人(うち主任児童委員5人)が活動しています。毎月定例会では、様々な社会問題をテーマに研修会を実施し、地域での民生委員活動に役立てています。

子育て世代の転入が増え、みらい平地区に小学校が新設されましたが、さらに児童数が増加しましたので現在、同地区に新たな小学校を建設中です。

小学生の登下校時には散歩がてらの見守りをしており、子ども達とも顔なじみになり、元気にあいさつをしてくれます。

子どもが増える一方で、高齢化率も年々高くなっており、平成29年7月現在、29.2%と、高齢者への対応がますます重要となっております。

このような中、市包括支援センターが作成した「ふくし便利帳」を高齢者の方に配布し、とても喜ばれています。

この手帳は、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯の方々が、日常生活において役立つ情報が掲載されています。例えば、お弁当や食料、灯油などを配達してくれるお店や、家財の簡単な修理などのまちの便利屋さんから、医療機関、在宅福祉、介護等が詳しく載っております。

これからも市民の身近な相談相手として、活動して行きたいと思っています。



児 民 区 地

阿見町

阿見町民児協の活動について

阿見町民児協副会長 野呂 薫

阿見町は人口約4万7千人、1万9千戸余りを80名の委員（うち主任児童委員3名）が3中学校区「阿見中学校地区25名、朝日中学校地区22名、竹来（たかく）中学校地区33名」に分かれ、それぞれ活動をしています。福祉サービスを受ける方のお手伝いや情報提供を行い、ひとり暮らし高齢者及び生活弱者の方に対し見守りを続けています。また、近年児童生徒の増加が目立つ朝日中学校地区では、登下校時の見守りにも力を入れております。特に、下校時は青色パトロール車による見守り活動を通し、安全安心な通学路の確保に努めております。

さらに今、社会問題となっております詐欺事案に関し、阿見町消費生活センターから「見守りのための高齢者の相談と対処法」の研修を受けました。高齢者の方々が被害に遭わないよう事故防止に努めております。

本年は、民生委員制度創設100周年の行事の一環で、委員の受け持ち区域の全世帯に対し戸別訪問を行い、「このまちとともに次の100年へ」のリーフレットを配布しながら民生委員児童委員の役割を理解してもらうための啓発活動を行いました。

阿見町の高齢化率は26・7%です。ますます高齢者が増えていくなか、民生委員としてどこまで仕事ができるのか、どこまでしなければならぬのかについて、ことあるごとに話し合っております。

これからも、地域の良き相談相手として関係機関と連携し、日々の活動に取り組んでいきたいと考えております。



結城市

結城市民児協の活動について

結城市民児協会長 鈴木直美

紬の里結城市は、人口は5万3千人、南北に長く歴史的町並みと新市街地、工業団地と文化スポーツ施設が配置され、田園地帯も広がる温暖で過ごしやすい地域です。

私たちの民児協は89名で構成されています。各委員が民児協を活動の拠点として、各担当地区（全8地区）で活動を進めています。取組みのいくつかをご紹介します。

（一）委員の自主的な協議会運営を目指し、役員15名で構成する運営委員会と89名の委員全員で開催する定例会を毎月行っています。

（二）常に住民の立場に立った活動を行うために地区委員会と事項別委員会を編成しています。福祉制度の研修や施設の視察、地区内要支援者の調査など、各委員会の多種多様な活動が全体の原動力となっています。また、高齢者等実態調査を行い地区ごとの抱える課題の確認と各関係機関との連携強化に取り組んでいます。

災害時の避難行動要支援者については、個別計画を作成・更新しています。要支援者に対しての地域支援者選任が難しいケースでは、委員がコーディネーターとして自治会や町内会等に働きかけ、決定することもあります。

（三）結城市障害者福祉センターの事業として、花づくり事業の播種や移植、販売（購入）に関わることで、障害者福祉への理解を深め、地域での民生委員活動に活かしています。

今後も委員相互の親睦と個々の委員のより一層のレベルアップを目指し、活動していきたいと考えています。



事務局だより

◆民生委員制度創設100周年記念
ポスターパネルの展示について

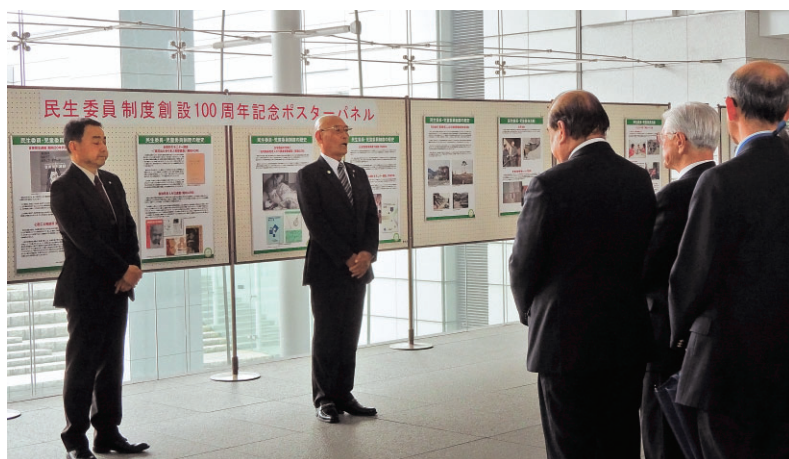
民生委員制度創設100周年のポスターパネルを、12月4日から15日の間、水戸市の県庁舎2階にある県民ホールに展示しました

このポスターパネルは、民生委員制度創設100周年記念事業のひとつとして全県児連が作成したもので、一般の県民の方に民生委員制度や活動を広く知っていただくため、県民児協が借用し、県保健福祉部と共催で展示することができました。

ポスターパネルはA1版で20枚、民生委員・児童委員の歩んできた歴史や活動内容について、写真や図をふんだんに使い具体的に説明しており、一般の方にも理解しやすいものになっています。

展示初日の12月4日には、オープニングセレモニーとして県民児協役員と県保健福祉部の関係者約20人が集まりました。寺門県保健福祉部次長から「民生委員・児童委員の活動が広く理解されるよう、県民児協と

協力しながら広報活動等を進めて行きたい」とのあいさつがありました。竹内会長は「一般の方に100周年の歴史を理解していただくとともに、これからも民生委員・児童委員は地域のためにがんばっていききたい」とあいさつしました。



県警からのお知らせ

●「交通安全思いやり110番」について

「交通安全思いやり110番」とは、交通事故に遭うおそれがある人を見つけた際に110番通報をして頂くものです。

※こんなときには110番

- ・道路中央を人がふらふら歩いている！
- ・飲酒した人が、車を乗り出そうとしている！

このような状況を発見した際は迷わず110番通報を！
あなたの通報が大切な命を守ります。



編集後記

昨年は、民生委員制度創設100周年の記念すべき年となり、本号でも、記念式典として開かれた第36回茨城県民生委員児童委員大会の特集を組みました。大会では、大井川新知事が挨拶の中で、超高齢化社会に備えての民生委員活動に寄せる期待や、ITを活用した取り組みの提言など熱く語られたのが印象的でした。さて編集委員会では「民児協いばらき」が機関紙としての役割を果たしながら、皆様に親しまれる広報紙となるよう心がけています。前号の表紙を飾ったひたちなか市の「花しょうぶ園」の写真は評判を呼び、掲載された後には、来園者がどっと増えたそうです。今号は、フォトクラブ県西の吉沢登さんの自慢の一枚に表紙を飾っていただきました。ダブルダイヤモンド筑波はうっとりするほど。茨城の魅力として全国に発信したいぐらいだと編集委員の間でも前評判上々です、ご感想をお寄せください。

編集委員 宇佐美吉郎

発行人

一般財団法人

茨城県民生委員児童委員協議会
会長 竹内昌信

〒310-0851

水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

TEL 029-243-5361

FAX 029-243-5902

<http://www.ibaraki-minjikyo.or.jp>

E-mail: iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp